

とになったが、当時はこれらを区別する方法が無かったため、Fischer は便宜的に I と定めた。この選択は、60年後になって J. M. Bijvoet (1951) によって偶然にも正しかったことが証明された。

もう一冊授業の教材に使ったものに、R. M. Roberts 著、安藤喬志訳『セレンディピティー：思いがけない発見・発明のドラマ』（化学同人，1993）[中央 402-R52]がある。どのような偶然性が化学の発展に寄与したかについて代表的な逸話を集めたもので、研究者にとっても示唆に富む点が多い。先に述べた Pasteur の酒石酸塩の研究に際しても、ブドウ酸塩のうちナトリウム・アンモニウム塩のみが分晶の現象を示したことや結晶化の温度（27度以下でないと分晶しない）が重要であったことが紹介されている。「観察の場では、幸運は待ち構える心にだけ味方するものである。」（Pasteur の言葉）

「セレンディピティー」で思いだすのは、筑波大学に赴任した当初、アミノ酸の合成試薬としてある化合物を開発した時のことである。この物質は結晶状態では一つの形に固定しているのに対し、溶液にすると二つの形をした平衡混合物へ速やかに移行する性質を持っていることが明らかに

なった。このきっかけになったのが、学生が試料を時間を置いて二度測定したことであった。これによって混合物の割合が変化することに気が付いたのである。

本学の図書館には化学関係の主要な学術雑誌はほぼ揃っているの、古い学術論文の内容を直接その場で目に見ることができる。欠号などでない時には、研究学園都市に位置している利点を生かして物質工学工業技術研究所や蚕糸・昆虫農業技術研究所の図書室を利用している。雑誌の配架で問題なのは三ヶ所に分かれていることで、利用者の便宜を考えると一ヶ所にまとめてある方が有り難い。単行本類はあまり利用しないが、配架されているものに系統性が必ずしもないことが気にかかる。可能であれば、一度専門家（教官）の手を煩わして、教科書やデータブック類は最新のものに、また歴史的に由緒ある本などを精査して揃えられればもっと使いやすいものになるのではないかと常々感じている。

（いのうえ・よしのぶ 化学系助教授）

## シリーズ・電子ジャーナル（3）

### 日本の電子ジャーナル

今回は日本の電子ジャーナルについてご紹介します。

残念ながら、学術出版社の多くが自社発行の雑誌を電子化して提供している欧米に比べて、日本では学術雑誌の電子化は遅れていると言わざるを得ません。雑誌に関する出版社の Web ページは数多くありますが、ほとんどが最新号の表紙の画像や目次を紹介するにとどまり、電子ジャーナル化よりも冊子体の販売促進に重点が置かれているようです。

そんな中でも、文部省や学術団体を中心に、いくつかの注目すべき試みが行われています。

#### 学術情報センター電子図書館サービス

（NACSIS-ELS）

NACSIS-ELS は、日本の学会誌を電子化して提供するものです。平成11年11月現在、およそ90の学協会の発行する300誌近くの学術雑誌が収録されています。

利用にあたっては、専用クライアント・ソフトを使うか、WWW ブラウザに専用プラグイン・ソフトを組み込んでアクセスします。これらのソフトは、NACSIS-ELS の Web サイト（<http://www.nacsis.ac.jp/els/equip-j.html>）から無料でダウンロードできます。ここでは専用クライアントの例を示しますが、学術論文の表題、著者名、キーワード

ド等から検索ができ(図1),選択した論文の本文は画像で表示されます(図2)。

利用料金はシステム使用料と著作権料に分かれており,システム使用料は当分の間無料ですが,著作権料は各学会が定めた金額を支払う必要があります(無料の学会もあります)。

利用資格は大学や教育・研究施設の教職員,大学院生,学会員等となっており,郵送による登録申請が必要です。利用申請に関する問い合わせ先は次のとおりです。

学術情報センター管理部共同利用課

〒112-8640 東京都文京区大塚 3-29-1

電話: 03-3942-6933 FAX: 03-3942-6797

E-mail: kyouri@ad.nacsis.ac.jp

また, NACSIS-ELS のホームページ(<http://www.nacsis.ac.jp/els/els-j.html>)でも,電子図書館サービスに関するさまざまな情報が提供されています。

## オンラインジャーナル編集システム

NACSIS では,さらに,学会誌等の電子ジャーナル化を促進するため,編集工程の電子化や電子原稿の効率的作成を行うためのシステムを開発しています。この「オンラインジャーナル編集システム」では,論文投稿者に対して,投稿規程に沿った原稿作成を容易にする執筆支援機能や引用文献リスト作成支援機能,編集サイドに対しては,投稿受付,原稿管理,査読支援,編集工程管理,購読者管理といった機能を提供します。また,完成した電子ジャーナルを提供する際の利用者認証,書誌・全文検索機能,新着雑誌の目次のメールサービス等,利用者向けの機能も備えています。

現在,このシステムは希望する学協会に無料で配布が始まっており,日本物理学会ではこれを実際に導入し,運用テストを行っているとのことでした。



図1 NACSIS-ELS での検索画面例



図2 NACSIS-ELS での表示画面例

## 科学技術振興事業団の活動

科学技術振興事業団(JST)では, NACSIS とも連携し,「科学技術情報発信・流通総合システム」(J-STAGE)を構築しています(<http://www.jstage.jst.go.jp/index.html>)。これは学協会の情報発信を支援するため,電子ジャーナル出版に必要なハード

ウェア、ソフトウェアをJST内に用意するというもので、現在、“Japanese Journal of Applied Physics”、“Journal of the Physical Society of Japan”、“資源と素材”の3誌が閲覧できます。

また、JSTが発行している雑誌「情報管理」は、1999年4月号から電子化されており、冊子体の購読者には無料で提供されています。これは筑波大学附属図書館でも購入していますから、学内の端末で閲覧できます。筑波大学電子図書館の「オンラインジャーナル」のページ(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/online-j/>)からリンクが張ってありますのでご利用ください。

### 大学における紀要の電子ジャーナル化

筑波大学では100種類以上の紀要が発行されています。これらの紀要は中央図書館の本学関係資料室に集められており、1987年以降については電子図書館で目次情報が検索できます(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/kiyo-kensaku.html>)。原文が電子化されているのは、現在のところ、17タイトル

です。紀要原文の電子化については、執筆者全員の著作権上の許諾が必要なため、バックナンバーにさかのぼって行うことは困難です。新しく発行される号から始めて、徐々に増やしていきたいと考えています。

インターネットで公開されている他大学の電子化紀要としては、国立大学では「山梨医科大学紀要」、「電気通信大学紀要」、「Nagoya Journal of Medical Science」、「名古屋大学文学研究論集」、「コミュニケーションと言語教育（信州大学大学院教育学研究科）」、「Yonago Acta Medica（鳥取大学医学部）」、「Esakia（九州大学農学部）」、「Acta Medica Nagasakiensis（長崎大学医学部）」、「長崎大学水産学部研究報告」、「文学部論叢（熊本大学）」、「熊本法学」などがあります。また、公立大学では大阪市立大学、都留文科大学、私立大学では東京情報大学、立教大学、東京家政学院筑波女子大学などの例があります。

このように紀要を電子化して公開する大学・研究機関はこれから増えていくものと思われます。



**ASK US** としょかんミニガイド

### 本学関係資料室の利用について

Q：読みたい雑誌をOPACで検索して、図書館にあることが分かったのですが、置いてある場所が分かりません。どこに行けば見られますか？

A：どういった雑誌でしょう？

Q：こちらです(図1)。請求記号の欄に何も入っていないので、どこに行ったらいいのか分かりません。

A：これは、所在の欄が「中央本学」となっていますので、「本学関係資料室」にありますね。

Q：本学関係資料？それはなんですか？

A：本学関係資料とは、本学で刊行された資料や、本学について書かれた資料のことで、筑波大学とその前身校（東京教育大学等）を含みます。図書

[操作方法ヘルプ](#) / [検索](#) / [直前の検索結果へ](#) / [本人利用状況へ](#) / [パスワード変更へ](#) / [トップページ](#)

#### 雑誌目録情報



##### 書誌

- 誌名 文藝言語研究 文藝篇(ブンゲイ ゲンゴ ケンキュウ: ブンゲイ ヘン)
- 編集団体名 筑波大学文藝・言語学系
- 創刊・終刊 1 (1976)~〇
- 出版 桜村(茨城県): 筑波大学文藝・言語学系. 1976~
- 出版国 日本
- 本文言語 日本語(jpn)
- 刊行頻度 年2回刊
- 番号 NCID: AN00222145  
ISSN: 03877523

##### 所蔵

所在	請求記号	所蔵年	所蔵巻号
1 中央本学		1976-1999	1-36*

図1 本学関係資料検索例(雑誌)

館ではこれらの資料を収集・保存して利用に供するため、中央図書館2階のレファレンスデスク奥に本学関係資料室を設置しています。お探しの雑誌